

# 榎原憲法九条の会ニュース

## No 39

事務局・連絡先 榎門 075-391-0567 下山 075-392-3861

守ろう！  
憲法九条  
21世紀の宝



池田桂子作

# 二度と、靖国神社の桜にはならない！

さくらさくら

やよいの空は見渡す限り

霞か雲か匂いぞいずる

いざやいざや

見に行かん

日本古謡

桜は、特攻隊のシンボルだった

日本の国花である桜は、太平洋戦争敗戦の直前には特攻隊のシンボルとなり「祖国のため、天皇のために潔く散れ」と兵士を死に追いやる花でした。

軍歌「同期の桜」が作られ盛んに歌われました。今でも自衛隊などで歌っています。

その三番には靖国神社が歌われています。

三、貴様と俺とは同期の桜 離れ離れに散ろうとも

花の都の靖国神社 同じ梢に咲いて会おう

七十数年前のある日、国から届いた赤紙の召集令状で戦争に行き、桜花のように命を散らした若人がいました。

その若者たちに向けて「国の為に死んで靖国神社の桜になるう」と歌っています。残酷な戦争の真実です。

また「戦争する国」に向かうのか？

安倍政権は、二〇一五年、憲法違反の「戦争法」（海外での戦いを可能とする）を強行採決しました。その結果、海外の戦場に行く危険性が高まり自衛隊への入隊希望者が少なくなっています。そこで政府は自衛隊増強のために、市町村に若者の名簿提出を要請しています。

花より団子、怖い武器より暮らし優先を！

安倍政権は、2019年度予算案で5兆2574億円と過去最高の軍事費を計上。新大綱・中期防の下でアメリカより武器の爆買いをしています（2基で1757億円の「イージス・アショア」や、1機100億円以上のF35ステルス戦闘機147機、その他的高額兵器を導入）さらに、護衛艦「いずも」を空母に改修し、ステルス戦闘機を搭載。これで他国も攻撃可能となります。



どんぐり  
団栗帽子

春よ来い

さよならよ来い

早く来い

うそにまみれたアベくん

失態つづきの部下たちが

やめてほしいと待っている

辺野古新基地建設沖の

深さ90メートルの軟弱地盤

隠していたがやっぱりあった

地盤改良実績は

深さ70メートル

そしたらあわてて

そこまで大丈夫と

根拠も示さずに言う

森友学園の地下

9.9メートルごみ問題

これはうそだったのが明らか

でも検証をしようともしない

信頼など

どだい無理でしょう

(誠)



榎原の電車公園の満開桜

# 「九条の会」呼びかけ人の心からの訴え・・・

現在、アベ九条改憲を止めるため全国的運動が展開されています。その時に、今回は梅原さんと寂聴さんの訴えを振り返ってみたいと思います。

梅原さんは二〇〇四年に作られた「九条の会」呼びかけ人の一人として活動されてきました。残念にも2019年1月12日 九三歳で亡くなされました。

一方、2008年に「憲法九条京都の会」が結成され瀬戸内さんは、その代表世話人の一人です。高齢ながら折節に登壇され「怖い戦争が近づいている」と警告しつづけています。(2019年現在97歳)



梅原猛さんの講演  
「生かそう憲法・守ろう九条」  
2011.5.3 京都会館にて

## 「九条を守ろう！」

### 梅原猛さんの講演より

私は今年（2014年）、数えの九十歳になりましたが、われわれ大正十四年生れは徴兵検査を受けて入営し、軍隊生活を送った最後の世代です。私より数年前の先輩は多く戦場に行き、帰らぬ人となりました。当然、私も死を覚悟し、人生は二十五歳までであるという思想を受け入れざるを得ませんでした。

広島と長崎に原子爆弾が投下され、日本が敗戦の運命をうけ入れたときが、私にとって解放のときでした。戦死者や原爆の犠牲者の上に分が生きていることに強い罪悪感を抱きながらも、この平和な時代、自分の人生をしつかり生きようと私は決意したものです。それから七十年、自分の人生を精一杯生きてきたと思いますが、その晩年にまた黒い雲がたち込めてきたようです。

安部首相の動きをみると、彼には祖父の岸信介元首相の霊が乗り移って、平和憲法を否定し、日本を戦前の日本に戻そうとしているようにしか思われません。「九条の会」の呼びかけ人のなかでも、軍隊生活を経験し現在存命なのは鶴見俊輔さんと私だけです。この戦中派の辛い思いを、戦争を知らない人にも伝え、九条を守る必要性を訴えていきたいと思えます。

## 「すぐ後ろに軍靴の音が聞こえる」

2015.6.20



瀬戸内寂聴さん

瀬戸内さんは1922年に生まれました。「私は戦争の真つただ中に青春を過ごし、北京で終戦を迎えた。帰ってきたら、故郷の徳島は焼け野原だった」と振り返った。そして「それまでの教育で、この戦争は天皇陛下のため、日本の将来のため、東洋平和のためと教えられた。」

「戦争にいい戦争は絶対がない。戦争はすべてが人殺しだ。殺さなければ殺される。このようなこと（戦争）は、人間の最も悪いところ」と強調した。

再び「戦争する国」にしようとしている

彼女は安倍首相が導いている日本の現実に対して、「最近の状況を見ていると、怖い戦争に近づいてきているような気がする。（戦争に反対する）このような気持ちも他の人、特に若い人たちに伝え、若者たちの将来が幸せになるような方向に（日本社会が）いつてほしい」と述べた。

瀬戸内さんは第2次大戦当時、空襲で祖父と母親を失った。そのため、戦争を直接経験した世代の残り少ない人間となっている。

瀬戸内さんは「このままでは子供や孫が戦争に引つ張りだされてしまう」と集会の2日前に出席を決めた。彼女は昨年、背骨を圧迫骨折したうえ、胆嚢が今まで患っており、京都で療養中だった。

瀬戸内さんは集会が終わった後も周辺に集まった記者たちに戦争の危険を警告することを忘れなかった。

「（現在の日本は）表面上は平和に見えるが、すぐ後ろに軍靴の音が聞こえている。安倍首相のやり方は、憲法9条を壊して、日本を再び戦争できる国にしようとしている。これを防ぐために、最後の力を振り絞って反対運動をするつもりだ」と述べられた。

（戦争法反対国会周辺集会時のネット記事より抜粋編集）



## 忘却を思う

(第6回 『西日本豪雨災害 編』)

精神科ソーシャルワーカー 山田 龍亮

自ら望んで当事者になったわけではない。当事者の苦悩を代わることもできない。できることは、忘れないこと。共に考えること。

\*

昨年十月の真備町は、住宅の多くも住める状態ではなく、店舗も外観は問題ないように見えても内部が無茶苦茶で営業できないところがほとんどでした。病院や老人施設も浸水した一階は使用できないまま、二階以上で運営している状態だったそうです。病院も、買物の場所も、生活に必要なものばかりですが、それが長期に渡って利用できない生活は、『不便』の一言で簡単に済ませられるものではありません。

建物の窓や扉はすべて開け放たれ、改修前に建物全体を乾かしている光景がそこかしこに目に付きました。乾燥が中途半端な状態でリフォームしてしまうと、あとあとになって腐食・カビ・さびなどの問題が発生してしまうそうです。地震や火災とは違う、水害ならではの問題であり、復旧に大幅に時間がかかっている一因だと思います。



〈写真⑦〉まび記念病院。今年の二月一日、完全復旧したとのこと。約七か月ぶりの全面再開。昨年十月に私たちが行ったときにはまだ、二階以上で運営している状態と聞いていたので、嬉しいニュースでした。



〈写真⑧〉どの家も、窓はすべて開け放たれている。



〈写真⑨〉外観は無事だが、浸水し内部は使える状態ではないため、営業されていない薬局。いくつもの店舗が同様の状態だった。

そして、十月にはほとんど収まっていたが、豪雨災害直後にはニュースでも取り上げられていたように、生活はもちろん、復旧のための活動を困難にしていたのが土砂や砂ぼこりです。水に沈んだ場所は匂いが全く違ったそうです。

こうした実生活の苦難はやはり、現実はその場を見ないと、そして実体験者の話を聞かないと、自分の身に置き換えて考え、理解することができないことを痛感します。それは石巻、女川に行ったときも感じたことですし、あるいは戦争体験談を聞くことにも相通することです。

いつ、誰が、どのタイミングで当事者になるか解らないからこそ、そこに関心を寄せる大切さを見失わないようにしたいものです。

## 辺野古沖に基地は造れない

投稿

美しい自然豊かな辺野古の沖には深さ90メートルもの軟弱地盤があると言う。そこに7万本以上の杭を打ち込み、アメリカ軍基地を造ってあげると言う。いつまでかかるか、いくらかかるか、完成するかも分からない工事になっている。

アメリカ軍が自分でしなければならぬなら、もうとっくに止めているだろう。「世界でもっとも危険と言われる普天間基地を返してもらうために新基地が必要」とアベくんたちは言う。でも工事は長引く方が、問題の先送りに都合としているようだ。

(誠)

お知らせ

## 第9回西京

ピースウオーク

3月23日(土) 10時半～

○集合:桂高校正門前付近

○解散:JR桂川駅前

みなさん気軽に参加し  
一緒に歩きましょう・・・



第8回西京ピースウオーク 2月23日(土)

沖縄県民投票を応援しよう! アベ改憲許さない! 消費税10%やめろ! などとシュプレヒコール。  
ぽかぽか陽気の巽公園を出発し、阪急桂西口前を通り新山陰街道の阪急高架下を経て桂高校前、旧桂東商店街から阪急東口まで元気に歩きました。

(参加者約40人)

## 九条の会アピールより

3000万署名を達成し5月3日に総決起を!

2019年は、憲法をめぐる正念場の年となりました。通常国会での改憲発議を絶対に許さない、そして参院選で改憲勢力3分の2を許さないことで、安倍改憲に終止符を打つことができます。それには、発議を許さず選挙で改憲勢力を打ち破る立憲野党の共闘と頑張り、9条改憲は絶対に許さないという市民の運動、この2つの力が不可欠です。  
九条の会も参加して取り組んでいる3000万署名をなんとしても成功させましょう。全ての地域、職場、学園で改めて目標を再確認し、地域に入ってさらに多くの市民に声をあげてもらいましょう。  
19年5月3日の前後には、すでに各地で憲法集会が企画されています。今年の5月3日を、市民がこぞって署名を持ち寄り、安倍改憲NO!の声をあげる総決起の日にしようではありませんか。

(2019年2月22日 九条の会)

## 3000万署名活動

檜原の目標まで・・・あと133筆・・・

大きなご協力をお願いします。

★署名用紙はお届けします。

(事務局) 樽門/下山まで)

安部首相に

投稿

ガッカリ、怒り心頭・・・

沖縄で辺野古の海埋立てに対する国民投票が実施され、72%の人たちが埋立て反対の意思を示しました。

それにもかかわらず“県民に寄り沿う、意見を聞く”といつも豪語していたのに耳もかさず、それどころか投票実施前から埋立てを変更するつもりは毛頭なかったことが国会中継のテレビで判りました。沖縄県民をあまりにも馬鹿にした話。

憲法もこんな風に国民を無視して改憲することは絶対に許せません。

(檜原 ST)

## 九条文化のひろば

○ 憎まれっ子 世に憚り改憲し

唯我独尊 国を滅ぼす

○ 国守る 言わずもがな今の儘

改憲なしで 平和を満喫

権田町 林天流九七翁

○ 泥棒や花見団子に税10%

○ 夢見月龍宮号の宇宙旅

檜原 斜山

### 編集後記

2月24日、沖縄県民は「辺野古新基地に反対」の意思を72%以上の大差で示した。政府はこの民意を尊重する、それが民主主義国家の姿だと思ふ。

その民意を踏み躪って工事をすすめる安倍政権は、売国的(従属的)政府と言える。

その怒りを4月7日投票の統一地方選挙で示すことが大切と思ふ。

芋峠 藤原